

流域治水プロジェクトの充実

1. 流域治水とはなんですか？

流域治水の、 対策のイメージ

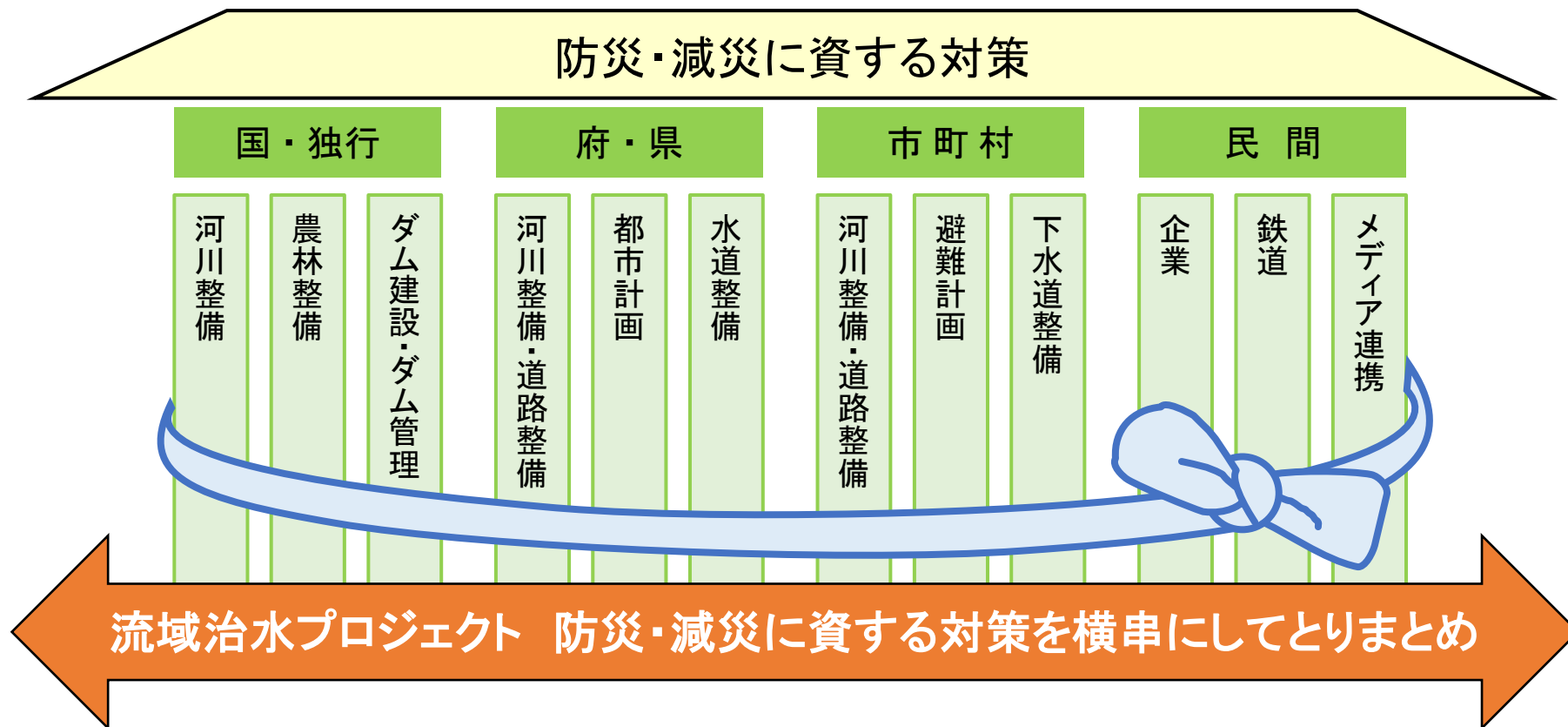


○ あらゆる関係者(国・都道府県・市町村・企業・住民等)により、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を**ハード・ソフト一体で多層的**に進める。



2. 流域治水プロジェクトの目標は？

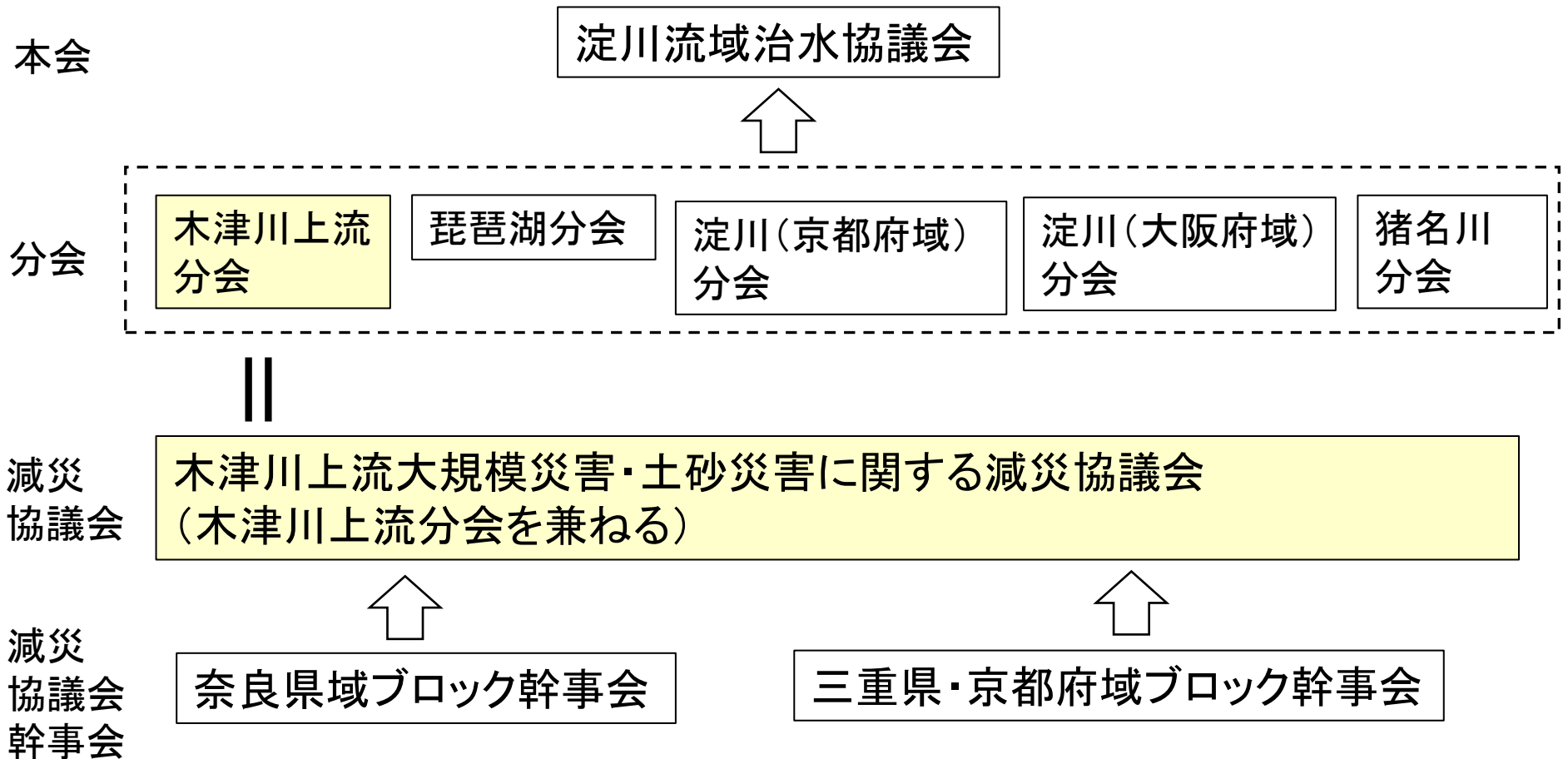
- 各機関のハード・流域・ソフト対策を、連携して推進します



河川対策		流域対策			
国・独行	府・県・市	国	農林	市町村・まちづくり	建築対策
<ul style="list-style-type: none"> □ 河道拡幅 □ 河道掘削 □ 遊水地 □ 築堤 □ ダム事前放流 	<ul style="list-style-type: none"> □ 河道拡幅 □ 河道掘削 	<ul style="list-style-type: none"> □ 防災拠点整備 □ 水害リスク表示 	<ul style="list-style-type: none"> □ ため池洪水調節 □ 田んぼダム 	<ul style="list-style-type: none"> □ 内水対策 □ 排水機場整備 □ 雨水貯留 □ 盛土による氾濫流制御 □ 安全な地域への誘導 	<ul style="list-style-type: none"> □ ピロティ化 □ 耐水化

流域治水プロジェクトの枠組みは？

- 淀川流域治水協議会の中で「木津川上流分会」として位置付けられ、「木津川上流分会」は、減災協議会の枠組みの中で進めます



「流域治水」の施策のイメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大

[国・市、企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

集水域

流水の貯留

[国・県・市・利水者]

治水ダム建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水機能の向上

河川区域

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導/
住まい方の工夫

[国・市、企業、住民]

土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]

長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化

「流域治水」の拡充について

構成員の拡充

- ✓ 河川の流域のあらゆる関係者が集まり流域治水を推進

【構成員の拡充】

- 国の機関
- 流域の各府県、市町村
- 民間企業、住民参画 など

協議会立ち上げ時点から
構成員を随時追加

各機関のプロジェクトの反映

- ✓ 構成機関の取り組みをプロジェクトに反映
- ✓ プロジェクトの拡充があれば、随時更新し、流域全体で安全度を向上

【流域治水プロジェクトの今後の取組方針】

- 河川整備の充実(河川整備計画の変更など)
- 他の協議会構成員の計画の充実

R3.8 淀川水系河川整備計画の変更
各府県、市町村の計画拡充

流域治水プロジェクトのさらなる充実

- グリーンインフラの取組
- 水害リスク情報の充実
- 取組状況の見える化

流域治水プロジェクトのさらなる推進を流域全体で推進

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

国土形成計画（平成27年8月閣議決定）

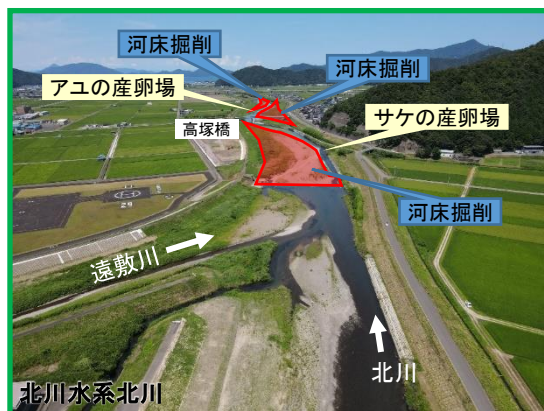
● 自然環境の保全・復元などの自然再生



● 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成



● 治水対策における多自然川づくり



● 健全な水循環系の回復



紀の川水系 内川

● 魅力ある水辺空間・賑わい創出

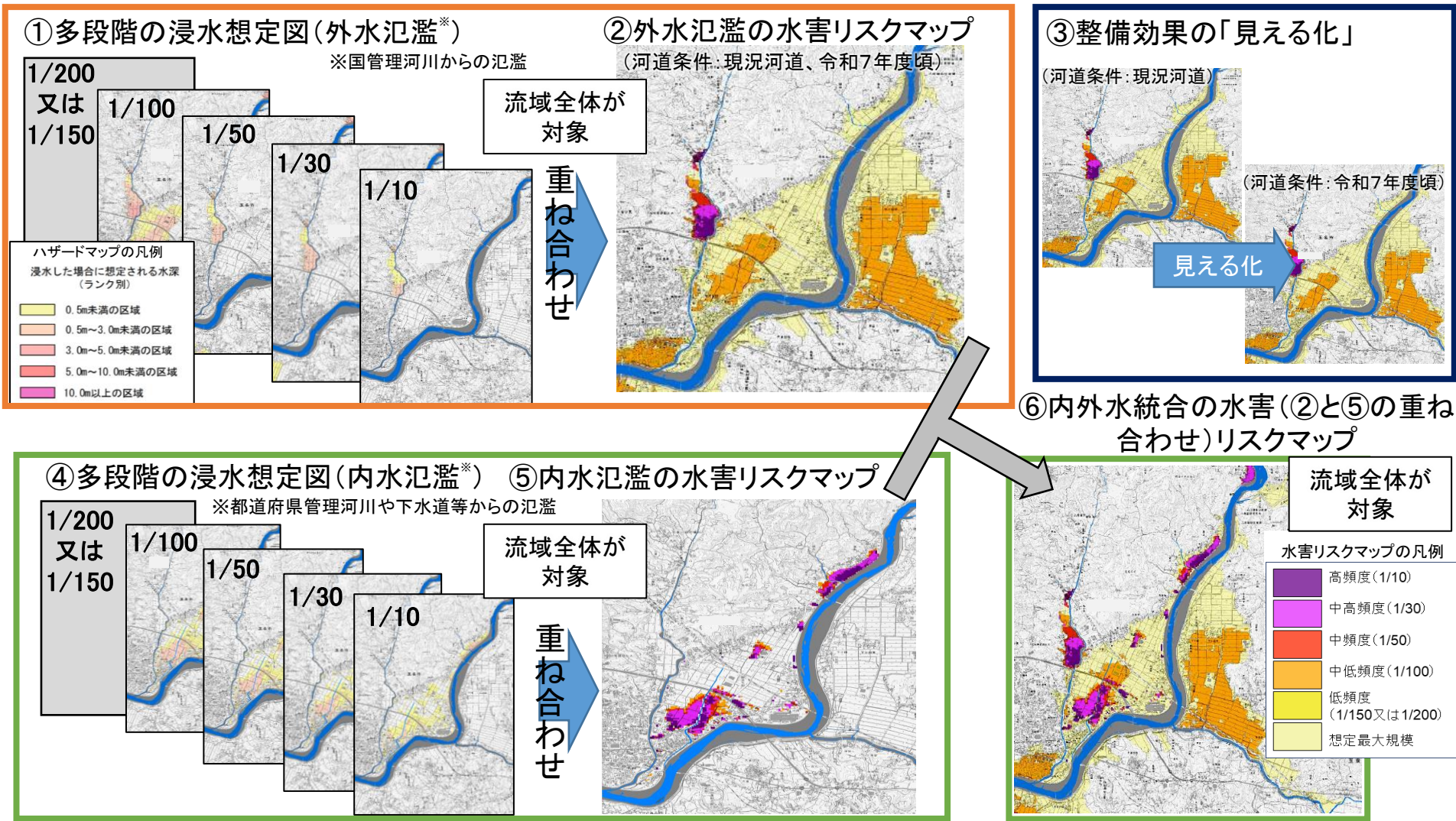


● 自然環境が有する多様な機能活用の取組



水害リスク情報の充実に向け、国管理区間において、先行的に水害リスク情報について検討中。

水害リスク情報の充実 整理イメージ



「流域治水」における主要な各取組に係る進捗状況を見える化し、協議会における取組状況をPR。

イメージ ○○川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】
～○○～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備率



整備率 ○○%
(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



○○市町村
(令和○年○月時点)

流出抑制対策の実施



○○施設
(令和○年○月時点)

山地の保水機能向上・土砂・流木対策



治山対策・森林整備
○○箇所
(令和○年○月時点)
砂防事業による保全箇所
○○施設
(令和○年○月時点)

立地適正化計画における防災指針の作成



○○市町村
(令和○年○月時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定
○○河川
(令和○年○月時点)
内水浸水想定
○○団体
(令和○年○月時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
○○施設
(令和○年○月時点)
個別避難計画
○○市町村
(令和○年○月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

写真・イメージ

被害対象を減少させるための対策

写真・イメージ

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

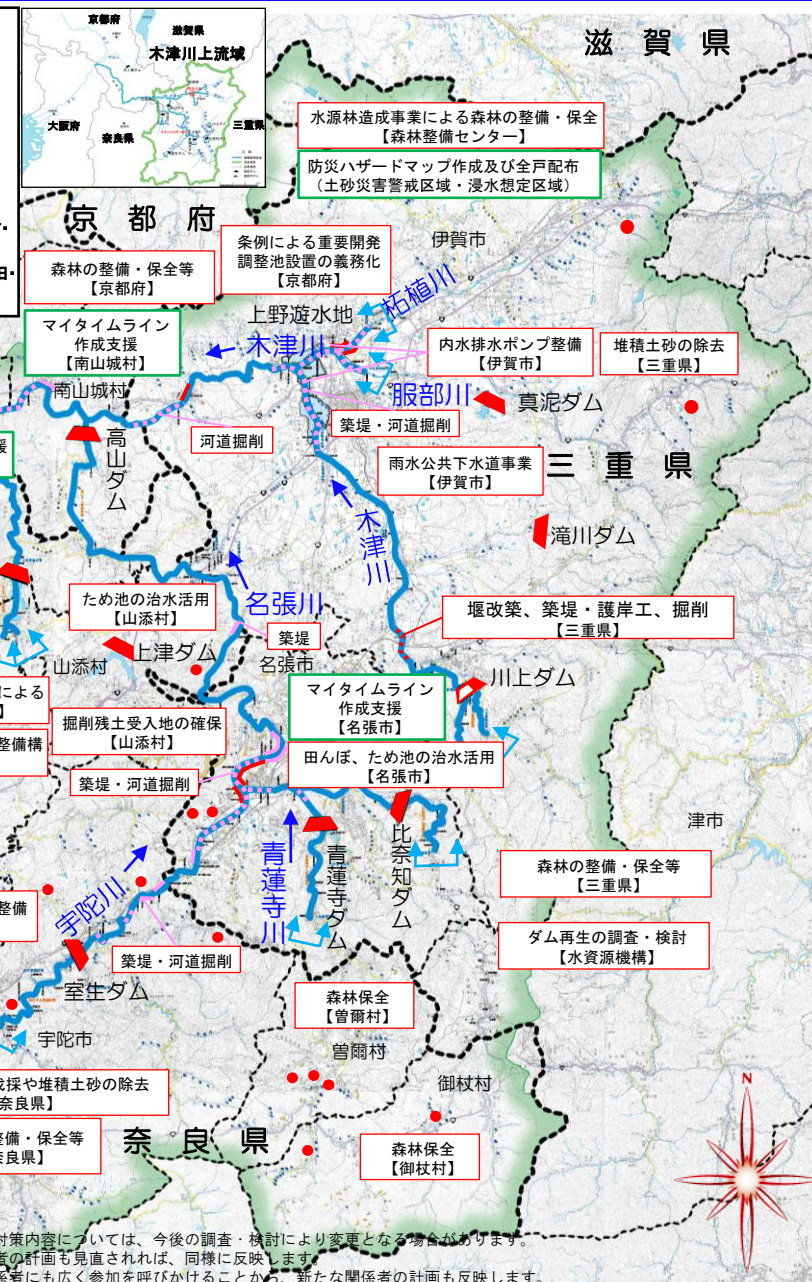
写真・イメージ

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【位置図】

(案)

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

- 凡例**
- 堤防整備
 - 堤防整備(拡充)
 - 河道掘削
 - 河道掘削(拡充)
 - ▲ ダム事業
 - 砂防事業
 - ↑ 大臣管理区間
 - 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



○近年の豪雨や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【洪水氾濫対策】
 ・河道掘削・拡幅、築堤、橋梁架替、堰改築、川上ダム、上野遊水地、バイパス水路、ため池の決壊防止、掘削残土受入地の確保推進

【内水氾濫対策】
 ・下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、内水排水ポンプ整備、雨水公共下水道事業の整備

【土砂災害対策】
 ・砂防堰堤、渓流保全工の整備、地すべり対策

【流水の貯留機能の拡大】
 ・川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)、河川改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討、ダム湖の堆砂除去

【流域の雨水貯留機能の向上】
 ・調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用
 ・森林の整備・保全、治山 等



御杖村の地域おこし協力隊(森林保全)

■被害対象を減少させるための対策
【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】
 ・土地利用誘導(災害危険区域の指定など)
 ・災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など) 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
【土地の水災害リスク情報の充実】
 ・地形改変等のあった箇所の基礎調査、水害リスク空白域の解消

【あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供】
 ・防災教育の実施、水害履歴の情報発信
 ・ポータルサイトにおける水害リスク情報の充実

【避難体制等の強化】
 ・避難指示に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成
 ・広域避難計画の策定、多機関連携型タイムラインの拡充
 ・ハザードマップの改良・周知・活用、まるごとまちごとハザードマップの整備、水害リスク情報の空白域の解消、内水ハザードマップの策定
 ・システム等による危険度情報の発信(避難行動に資する高度化)
 ・避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備、関係機関が連携した実動水防訓練の実施
 ・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進、避難支援対策の整備
 ・水防団や地域住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検、復旧・復興の資機材の確保
 ・水防活動の担い手となる水防団員や水防協力団体の募集・指定の促進



南山城村の避難行動タイムラインの作成

【関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化】
 ・排水施設情報の共有・排水手法等の検討、大規模水害を想定した排水計画の作成、排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施、水防拠点の検討 等

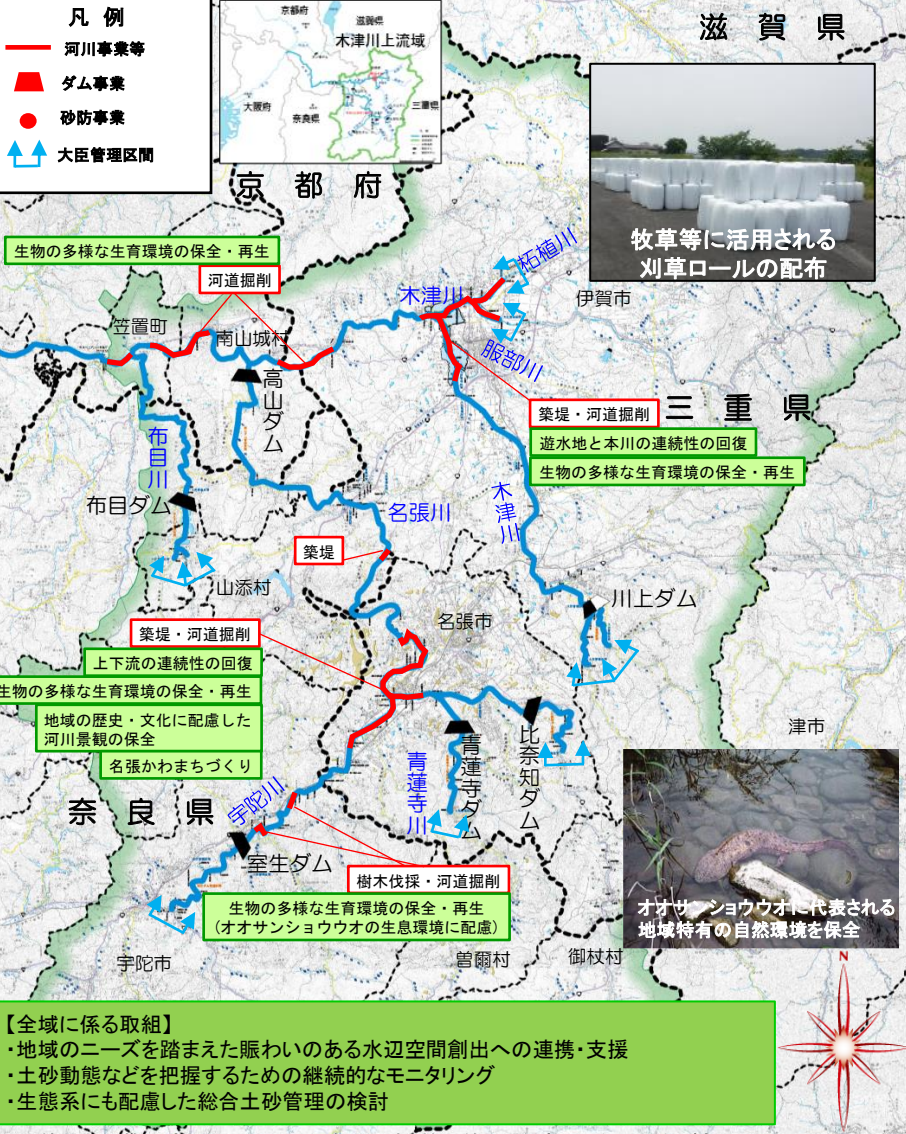
■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

～淀川の水と緑がくみあう流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『淀川の水と緑がくみあう流域治水対策』

- 木津川上流部の一部は室生赤目青山国定公園に位置し、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息が確認されている。また、岩倉峡や赤目四十八滝等の景勝地が点在し、豊かで多様な動植物が息づく良好な景観が形成されている等、木津川上流域は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在している。
- 木津川上流域においては、多様な水生生物が生育・生息・繁殖可能な河川環境を目標に、今後概ね30年間で、河道掘削にあわせ「オオサンショウウオ等の生育環境を保全する」など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



- 治水対策における多自然川づくり
 - ・上下流の連続性の回復
 - ・遊水地と本川の連続性の回復
 - ・生物の多様な生育環境の保全・再生



- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・地域の歴史・文化に配慮した河川景観の保全
 - ・名張かわまちづくり



- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・ヤギを活用した除草
 - ・牧草等に活用される刈草ロールの配布
 - ・小中学生による水生生物調査
 - ・河川レンジャー制度を活用した環境学習
 - ・水辺の楽校を活用した環境学習



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【ロードマップ】(案)

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

- 木津川上流域では流域全体を俯瞰し、国、府県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水対策」を推進する。
 - 【短期】 治水安全度を着実に向上させるため着手済みの川上ダム建設、橋梁架替や河道掘削、堤防整備を推進。
 - 【中期】 木津川上流域で人口資産が集中する伊賀・名張市街地において、上野遊水地大規模事業及び名張川引堤Ⅱ期を完成させる。
 - 【長期】 気候変動を踏まえた更なる対策を推進し、河道掘削や堤防整備等により計画規模洪水を安全に流下させる。また、河川改修のストック効果の最大化により、ダムの運用改善等を行い流域の被害軽減を図る。豪雨が頻発・激甚化する中、市街地の浸水被害を防ぐ内水氾濫対策として、ため池や田んぼ等の治水活用を実施する。大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、森林保全等の流出抑制策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて、内水被害軽減対策（ポンプ場整備等）、水防拠点整備や管理施設の長寿命化対策等を実施する。

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	名張川の河道(河床)掘削、引堤、築堤、橋梁架替等による洪水氾濫対策 水防拠点の検討	国土交通省	名張引堤Ⅰ期完成(国土交通省)	名張引堤Ⅱ期完成(国土交通省)	名張築堤完成(国土交通省)
	名張川、宇陀川、青蓮寺川、町並川、山田川等の河道(河床)掘削や築堤、 地下バイパス水路、樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、奈良県		上野遊水地大規模事業完成(国土交通省)	木津川上林・上神戸地区 堰改築等完成(三重県)
	木津川、服部川、柘植川等の河道(河床)掘削や樹木伐採・堆積土砂撤去、 遊水池の整備等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、京都府			
	下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、内水排水ポンプ整備、雨水公共下 水道事業の整備	伊賀市	大戸川小田排水機 場の改修(伊賀市)		
	砂防堰堤工、溪流保全工の整備、地すべり対策	国土交通省、三重県、奈良県			
	川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的 な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)、ダム湖の堆砂除去、河川 改修に伴うダム運用改善、ダム再生の調査・検討	農林水産省、水資源機構	川上ダム完成 (水資源機構)	ダム再生調査・検討(水資源機構)	
	調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用、森林の整備・保全、治山 等	農林水産省、三重県、京都府、奈良県 名張市、山添村、曾爾村、御杖村、森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	土地利用誘導(災害危険区域の指定など)、災害危険区域や建築制限の指 定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など)等	名張市等			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の空白域の解消等による土地の水災害リスク情報の充実	国土交通省、三重県、京都府、奈良県			
	防災教育の実施等によるあらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	国土交通省、水資源機構、三重県、京都府、奈良県			
	避難指示に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成等による 避難体制等の強化	全ての主体			
	大規模水害を想定した排水計画(案)の作成等による関係者と連携した早 期復旧・復興の体制強化	国土交通省、三重県、京都府、奈良県			
グリーンインフラの 取組	※詳細は次ページ				

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【ロードマップ】(案)

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	長期
グリーンインフラの 取組	生物の多様な生育環境の保全・再生	国土交通省	→		
	遊水地と本川の連続性の回復	国土交通省	→		
	上下流の連続性の回復	国土交通省	→		
	地域の歴史・文化に配慮した河川景観の保全	国土交通省	→		
	名張かわまちづくり	国土交通省	→		
	オオサンショウウオの生育環境に配慮	国土交通省	→		
	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援	国土交通省	→		
	土砂動態などを把握するための継続的なモニタリング	国土交通省	→		
	生態系にも配慮した総合土砂管理の検討	国土交通省	→		

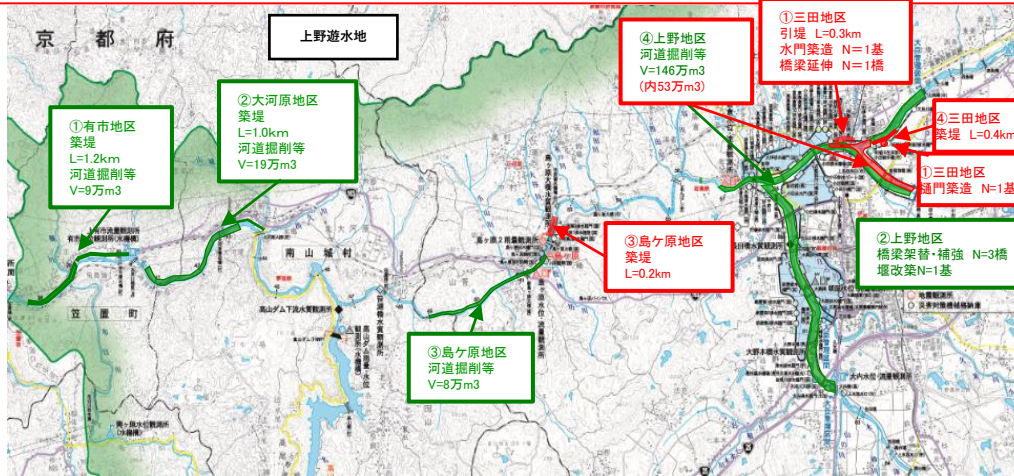
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

現在供用している上野遊水地、川上ダム建設事業のR4完了、木津川支川服部川の三田地区の引堤整備のR7完了、引き続き服部川河道掘削等の推進により、服部川、柘植川合流部の資産集中地区において戦後最大である昭和28年台風13号規模洪水を安全に流下させることが可能。

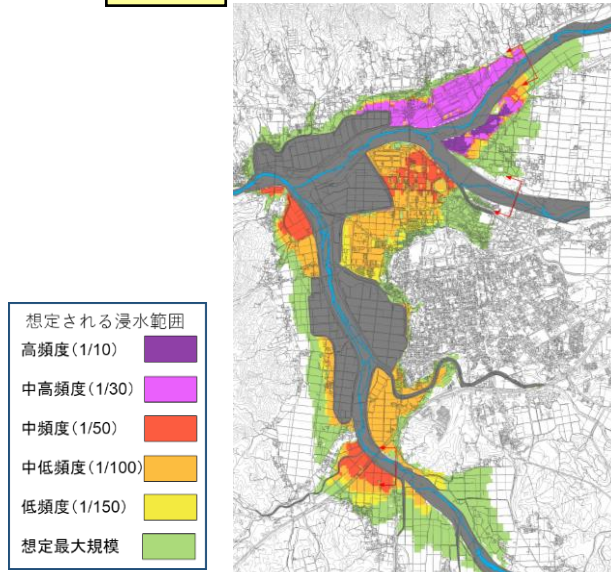


区分	対策内容	区間	工程		
			短期(R2-R7年)	中期(R8-R15年)	長期(R16-R34)
関連事業			▼川上ダム完成(R4)		
築堤	① 有市地区 (木津川)			100%	
	② 大河原地区 (木津川)				100%
	③ 鳥ヶ原地区 (木津川)		100%		
	④ 三田地区 (柘植川)		100%		
引堤	① 三田地区 (服部川)		100%		
	樋門	① 三田地区 (柘植川)		100%	
河道掘削等	① 有市地区 (木津川)			100%	
	② 大河原地区 (木津川)			100%	
	③ 鳥ヶ原地区 (木津川)				100%
	④ 上野地区 (木津川)				100%
橋梁延伸・架替・補強・堰改築	① 三田地区 (伊賀上野橋)		100%		
	② 上野地区 (若倉橋他2橋、小田新井橋)				100%

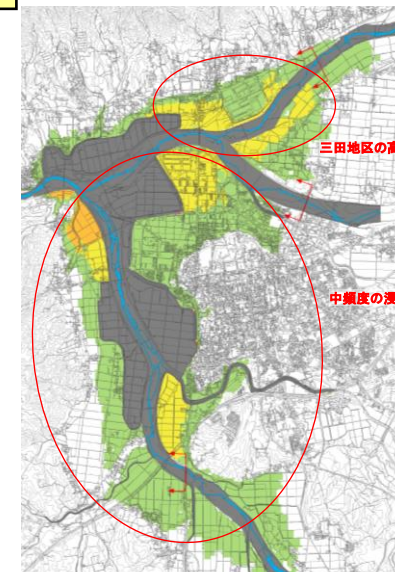
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

現状



短期



- 【短期期整備完了時の進捗】
- 築堤
- ③鳥ヶ原地区 築堤 100%
- ④三田地区 築堤 100%
- 引堤
- ①三田地区 引堤 100%
- 樋門
- ①三田地区 樋門 100%
- 河道掘削
- ④上野地区 河道掘削 34%
- 橋梁延伸・架替
- ①三田地区 橋梁延伸・架替 67%

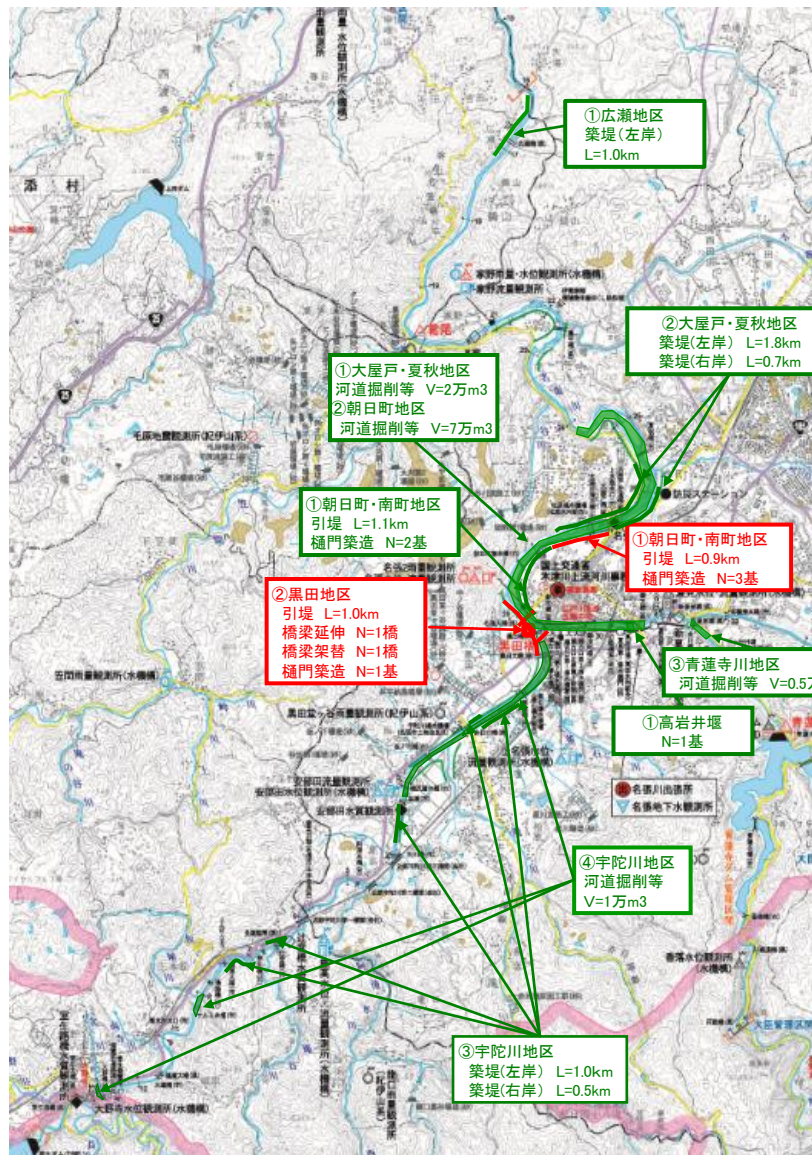
※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10、1/30、1/50、1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】

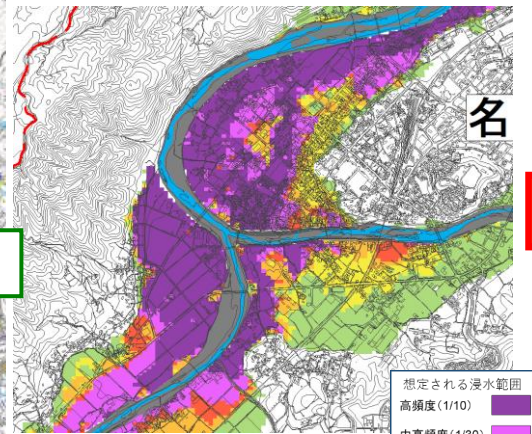
～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約68%→約77%

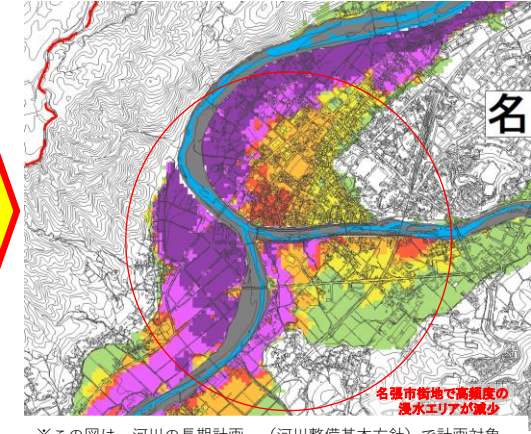
黒田地区引堤事業(旧堤撤去含む)完了させ名張市街地の水位を約1m低下させ越水を回避させるとともに、朝日町・南町地区引堤事業を推進することで、名張市街地の治水安全度をさらに向上。



現状



短期



【短期整備完了時の進捗】
引堤
①朝日・南町地区 引堤 25%
②黒田地区 引堤 100%

区分	対策内容	区間	工程		
			短期(R2~R7年)	中期(R8~R15年)	長期(R16~R34)
関連事業					
引堤		① 朝日・南町地区 (名張川)	100%		
		② 黒田地区 (名張川)	100%		
築堤		① 広瀬地区 (名張川)		100%	
		② 大屋戸・夏秋地区 (名張川)		100%	
		③ 宇陀川地区 (宇陀川)			100%
		④ 大屋戸・夏秋地区 (名張川)		100%	
河道掘削等		① 朝日町地区 (名張川)			100%
		② 朝日町地区 (名張川)			100%
		③ 青蓮寺川地区 (青蓮寺川)			100%
		④ 宇陀川地区 (宇陀川)			100%
井堰		① 高岩地区 (名張川)			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載している。

淀川水系流域治水プロジェクト（木津川分会）【流域治水の具体的な取組】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率



整備率 77%
(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



43市町村
(令和4年3月時点)

流出抑制対策の実施



集 計 中

山地の保水機能向上・
土砂・流木対策



治山対策・森林整備
66箇所
(令和4年3月時点)

集 計 中

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村
(令和3年12月時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定
218河川
(令和3年12月時点)
内水浸水想定
7団体
(令和3年11月時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保計画
11,685施設
(令和3年9月時点)

集 計 中

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

名張川改修（木津川上流河川事務所）



名張川の引堤により、名張市街地の治水安全度を向上させる。

砂防堰堤（紀伊山系砂防事務所）

砂防堰堤の整備により、宇陀市内の土砂災害を防止する。



川上ダム建設（水資源機構）



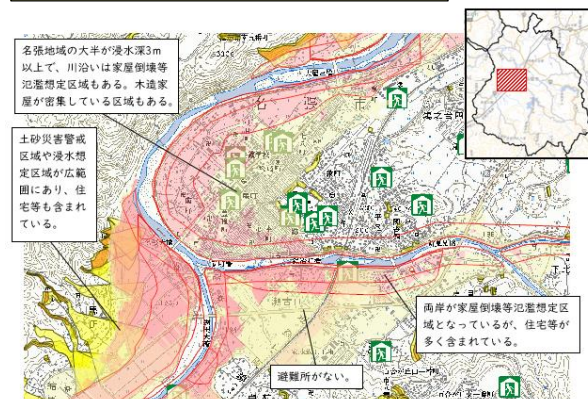
川上ダムの整備により、上野市の治水安全度を向上させる。

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画策定に向けた検討（名張市）

近年頻発化・激甚化する自然災害に対しては、災害リスクを踏まえた防災まちづくりの目標を設定し、災害に強いまちづくりを進めることが重要である。名張市では、立地適正化計画で定めた誘導区域について地域毎の災害リスクのきめ細やかな分析を行い、防災に関するより具体的な取組及び目標の検討を行う。

災害リスク分析・特に危険な地域の抽出



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

土砂災害に関する出前講座（奈良県）



土砂災害の基礎知識や早期の警戒避難の重要性を説明し、防力向上を図る。

CATVを活用した住民に対する防災知識の普及（宇陀市）

住民の防災意識の高揚を図るため、CATVを活用し、防災力向上を図る。



タイムラインの作成支援（笠置町）



地区ごとに応じたタイムラインの作成に係る説明会の実施及び作成支援の実施。

※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。
※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。